

高知工業高等専門学校		開講年度	平成26年度 (2014年度)	授業科目	建築設計演習
科目基礎情報					
科目番号	0011		科目区分	専門 / 選択	
授業形態	演習		単位の種別と単位数	履修単位: 2	
開設学科	建設工学専攻		対象学年	専1	
開設期	通年		週時間数	2	
教科書/教材	教材: 日本建築学会「第3版コンパクト建築設計資料集成」、プリントを使用する。				
担当教員	西岡 建雄				
到達目標					
【到達目標】					
1. 設計課題を自ら創造し、解決していく力を習得する。 2. 提案手法を学び、自ら実践、検討を加えることができる。					
ルーブリック					
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安
評価項目1	設計課題を自ら創造し、魅力的な解決策を提案できる。		設計課題を自ら創造し、解決できる。		設計課題を自ら創造し、解決できない。
評価項目2					
評価項目3					
学科の到達目標項目との関係					
教育方法等					
概要	本科で建築選択科目を履修した学生を対象に、さらに与えられた設計課題に対する解決手法を学び、実例を解決するため自主的、独創的コンセプトづくりの出来る力をつける。 建築設計を体験的に学ぶために自主性を重視した設計課題に取り組み、基礎的設計、提案力を養う。 その中で、自然や社会などを含む周囲の環境への影響を配慮し、問題解決能力を学生自らが培い、互いにコミュニケーションを計りながら協同して、それらを学習体験できるエンジニアリング・デザイン教育に対応する。				
授業の進め方・方法	演習主体で進める。				
注意点	実務に応用できる幅広い専門基礎知識として、到達目標に対する達成度をプレゼンボード製作課題に対する取り組み、解決策の内容、そのまとめ方および課題等から総合的に評価する。				
授業計画					
		週	授業内容	週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	講義、実習、制作とを繰り返す授業形態を取る。知識を得、問題解決手法を学び、学んだことに基づき、概念構築、計画、設計実習を行い、学生自らを自らが検証していくプロセスによる体得的実習授業を行う。 1. 課題1 [1-16]: 課題1 公共施設の設計製図、模型、プレゼンボード製作	講義、演習、プレゼンテーション力をつける。	
		2週	講義、実習、制作とを繰り返す授業形態を取る。知識を得、問題解決手法を学び、学んだことに基づき、概念構築、計画、設計実習を行い、学生自らを自らが検証していくプロセスによる体得的実習授業を行う。 1. 課題1 [1-16]: 課題1 公共施設の設計製図、模型、プレゼンボード製作	講義、演習、プレゼンテーション力をつける。	
		3週	講義、実習、制作とを繰り返す授業形態を取る。知識を得、問題解決手法を学び、学んだことに基づき、概念構築、計画、設計実習を行い、学生自らを自らが検証していくプロセスによる体得的実習授業を行う。 1. 課題1 [1-16]: 課題1 公共施設の設計製図、模型、プレゼンボード製作	講義、演習、プレゼンテーション力をつける。	
		4週	講義、実習、制作とを繰り返す授業形態を取る。知識を得、問題解決手法を学び、学んだことに基づき、概念構築、計画、設計実習を行い、学生自らを自らが検証していくプロセスによる体得的実習授業を行う。 1. 課題1 [1-16]: 課題1 公共施設の設計製図、模型、プレゼンボード製作	講義、演習、プレゼンテーション力をつける。	
		5週	講義、実習、制作とを繰り返す授業形態を取る。知識を得、問題解決手法を学び、学んだことに基づき、概念構築、計画、設計実習を行い、学生自らを自らが検証していくプロセスによる体得的実習授業を行う。 1. 課題1 [1-16]: 課題1 公共施設の設計製図、模型、プレゼンボード製作	講義、演習、プレゼンテーション力をつける。	
		6週	講義、実習、制作とを繰り返す授業形態を取る。知識を得、問題解決手法を学び、学んだことに基づき、概念構築、計画、設計実習を行い、学生自らを自らが検証していくプロセスによる体得的実習授業を行う。 1. 課題1 [1-16]: 課題1 公共施設の設計製図、模型、プレゼンボード製作	講義、演習、プレゼンテーション力をつける。	
		7週	講義、実習、制作とを繰り返す授業形態を取る。知識を得、問題解決手法を学び、学んだことに基づき、概念構築、計画、設計実習を行い、学生自らを自らが検証していくプロセスによる体得的実習授業を行う。 1. 課題1 [1-16]: 課題1 公共施設の設計製図、模型、プレゼンボード製作	講義、演習、プレゼンテーション力をつける。	
		8週	講義、実習、制作とを繰り返す授業形態を取る。知識を得、問題解決手法を学び、学んだことに基づき、概念構築、計画、設計実習を行い、学生自らを自らが検証していくプロセスによる体得的実習授業を行う。 1. 課題1 [1-16]: 課題1 公共施設の設計製図、模型、プレゼンボード製作	講義、演習、プレゼンテーション力をつける。	



	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	0	0	0	0	100	0	100
基礎的能力	0	0	0	0	20	0	20
専門的能力	0	0	0	0	40	0	40
分野横断的能力	0	0	0	0	40	0	40